

氏名	國澤尚子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	基礎看護学、看護人間工学				
学位	博士(工学)				
学歴	1985年埼玉大学教育学部、88年東京女子医科大学看護短期大学、97年筑波大学大学院教育研究科修士課程カウンセリング専攻カウンセリングコース、2009年博士(工学)取得(千葉工業大学)				
経歴	1992東京女子医科大学看護短期大学助手、98三重県立看護大学助手、99埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、2006埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科准教授、13医療生協さいたま地域社会と健康研究所副所長兼主任研究員、19埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授				
所属学会(役職)	日本看護技術学会、日本人間工学会(代議員)、看護人間工学会(評議員、総務委員)、日本看護学教育学会 日本看護科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会、バイオメカニズム学会(評議員) 福祉のまちづくり学会、産業保健人間工学会、日本健康教育学会(代議員)、日本公衆衛生学会 日本医学教育学会、日本障がい者スポーツ健康科学看護学会、日本認知症ケア学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	はじめて学ぶ“伝わる”プレゼンテーションー患者指導、カンファレンスから学会・院内発表までー Chapter1 プレゼンテーションをはじめる前に、Chapter2 プレゼンテーションのキホン、Chapter3 人前で上手に話すためのコツ、Chapter5 カンファレンスや日々の申し送りでのプレゼンテーション、Chapter6 さらにプレゼンテーション技術を高めるために	共著	あり	総合医学社、P114	國澤尚子(編著)、丸山優、新村洋未、	2019.7
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	肘窩での日常的な採血および静脈注射に関する正中神経と上腕動静脈の超音波解剖学的研究	共著	あり	保健医療福祉科学、9巻、15-20	寺嶋美帆、五味敏昭、Timmermans Jean-Pierre、成瀬秀夫、平田美和、小山浩司、手島遼太、國澤尚子、西原賢、佐々木清三、木村明彦、林弘之	2019.9
2	「改訂腰痛予防対策指針とノーリフティング原則」に関する看護教員の知識と看護学生への移動技術および用具に関する教育との関連	共著	あり	看護人間工学会誌、Vol.1、49-55	西田直子、水戸優子、若村智子、富田川智志、平田美和、國澤尚子、小林由実	2020.3
3	新たな腰痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの開発	共著	なし	科学研究費助成事業 基盤研究(C)研究成果報告書	水戸優子、西田直子、若村智子、小林由実、國澤尚子、平田美和、富田川智志	2020.3
4	企業と看護の研究が融合したらこんな形になったー壁から飛び出したトイレ手すりの開発秘話	共著	なし	看護人間工学会誌、Vol.1、7-16	國澤尚子、川口寿孝	2020.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	看護基礎教育教員の「腰痛予防対策指針およびノーリフティング原則」の認知の現状	共同		第60回日本社会医学学会総会、調布市(交流セッション)	○西田直子、水戸優子、小林由実、富田川智志、平田美和、若村智子、國澤尚子	2019.8
2	看護大学における用具を活用した移動・移乗動作技術の教育展開	共同		日本看護技術学会第18回学術集会、福井市	○西田直子、水戸優子、若村智子、平田美和、小林由実、富田川智志、國澤尚子	2019.9
3	看護基礎教育における移動技術教育の実態調査(1)教授内容と方法	共同		日本看護技術学会第18回学術集会、福井市	○水戸優子、西田直子、若村智子、小林由実、平田美和、國澤尚子、富田川智志	2019.9
4	看護基礎教育における移動技術教育の実態調査(2)移乗・移動用具を用いた教育	共同		日本看護技術学会第18回学術集会、福井市	○平田美和、水戸優子、西田直子、若村智子、小林由実、國澤尚子、富田川智志	2019.9
5	A町の認知症支援のためのベースライン調査ー専門職のIPWコンピテンシー自己評価からー	共同		第12回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会、文京区	○國澤尚子、出貝裕子、桂晶子、成澤健、中込沙織、萩原潤、丸山優、畔上光代、大塚真理子	2019.9
6	A町の認知症支援のためのベースライン調査ー病院・老健職員が認識するインフォーマル支援者との連携上の課題ー	共同		第12回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会、文京区	○丸山優、出貝裕子、桂晶子、成澤健、中込沙織、萩原潤、國澤尚子、畔上光代、大塚真理子	2019.9
7	訪問看護師の専門職連携実践力自己評価尺度の開発	共同		第12回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会、文京区	○畔上光代、國澤尚子、大塚真理子	2019.9

8	病院・施設用トイレの新型補助具の開発一壁から飛び出した手すりの有効性一	共同	第14回全日本民医連学術・運動交流集会、長野市	○高石光雄、國澤尚子	2019.10
9	企業と看護の研究者が融合したらこんな形になった一壁から飛び出したトイレ手すりの開発秘話	共同	第1回看護人間工学会学術集会、横須賀市(特別講演)	○國澤尚子、○川口寿孝	2019.11
(4)その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	トイレの手すりの進化論:手すりが壁から飛び出した!一異業種間での共同研究による新発想のトイレ手すりの研究・開発秘話一	共同	日本老年看護学会第24回学術集会、仙台市(ランチョンセミナー)	○國澤尚子、村井信幸、川口寿孝、増野博之、石川朝之	2019.6
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		新たな腰痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの開発	研究協力者	2017.4~2020.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)		認知症高齢者と家族の質の高い継続的な暮らしを目指した研修の社会実装と評価	研究協力者	2018.4~2022.3
3	共同研究(埼玉県立大学・ナカ工業株式会社)		在宅高齢者・障害者の排泄を支援する戸建向けトイレ補助具の研究	研究代表者	2019.5~2020.3
3. 教育業績					
(1)講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	看護過程論	○	15	1年生を対象に、ヘンダーソンの理論をもとに看護過程の展開の意味、方法、記録の関連が理解できるように、事例を使って、講義、模範例の提示、個人およびグループでの演習を取り入れた。	
2	看護理論(大学院)		8	看護実践のリフレクションを促し、看護理論を用いて実践を説明できるように支援した。	
(2)演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	看護方法Ⅰ(看護の基本技術)		15	1年生を対象に、看護技術の最初の科目であることをふまえて、技術の習得だけでなく、観察、コミュニケーション、ボディメカニクスなども習得できるように促した。	
2	看護方法Ⅱ(日常生活援助技術)		15	2年生を対象に、単元の目標が達成できるように、知識と行動を結びつけるように説明したり模範を示したりしながら、日常生活援助技術の習得を促した。	
3	看護方法Ⅲ(診断治療の援助技術)		15	2年生を対象に、単元の目標が達成できるように、知識と行動を結びつけるように説明したり模範を示したりしながら、診断治療の援助技術の習得を促した。	
4	看護方法Ⅳ(実践的看護展開)		15	2年生を対象に、単元の目標が達成できるように、知識と行動を結びつけるように説明したり模範を示したりしながら、フィジカルアセスメント技術の習得や看護過程展開のためのグループワーク・演習を促した。	
5	看護学入門(編入生)		8	授業設計に参画し授業をサポートした。第4回「看護過程を学ぶ」の講義を担当し、看護過程の考え方について再考を促した。ディベートに向けてのグループワークでは、ファシリテータとしてディスカッションを促した。	
6	看護学特別研究(大学院)		毎週1回(年間)	ゼミに参加し、指導補助として大学院生の研究指導を行った。	
(3)実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	ヒューマンケア体験実習		2019.9	全学科合同グループによる1年生の初めての臨地実習のため、ラウンドのときには利用者や職員とコミュニケーションがとれているか確認し、直接的、間接的に支援した。学内でのグループワークのファシリテータを行った。	
2	基礎看護学実習Ⅰ		2020.2	1年生を対象に、見学実習、グループワークを支援した。初めての病院実習がスムーズに実施できるように、看護部および病棟との調整を行った。	
3	基礎看護学実習Ⅱ		2019.9~10	2年生を対象に、初めての受け持ち実習であることを考慮し、患者との関係、疾患や治療の理解、看護過程の展開などについて、学生の理解度について日々臨床指導者と確認・相談しながら実習指導を行った。	
(4)論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	

1	修士論文	2019.4～2020.3	主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員)	1名
2	修士論文	2019.7～2020.3	副査	1名		
(5)その他						
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	該当なし					
4. 社会貢献活動						
(1)講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ			開催年月
1	ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベルの事前準備のための研修	上尾中央医科グループキャリアサポートセンター	小論文の書き方			2019.4
2	認定看管理者教育課程ファーストレベル第1回	東京都看護協会	統合演習 I			2019.6～7
3	東京都看護協会教育研修	東京都看護協会	問題解決の考え方と方法を学ぼう!			2019.8
4	山梨県看護協会教育研修	山梨県看護協会	ファシリテータの役割を再発見			2019.8
5	新任副看護師長研修	独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)北海道四国地区	ファシリテーションに関する基礎知識			2019.9
6	新任副看護師長研修	独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)東日本地区	ファシリテーションに関する基礎知識			2019.9
7	IPW総合課程	埼玉県立大学地域産学連携センター(彩の国連携力育成プロジェクト共催)	第5回 IPWの実践と評価(2)多職種連携実践の現状と評価(実践の立場から)			2019.11
8	令和元年度キャリアラダー研修	越谷市立病院	ファシリテーション I			2019.11
9	認定看管理者教育課程ファーストレベル第2回	東京都看護協会	統合演習 I			2019.11～12
10	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	埼玉県看護協会	人材管理 I 看護チームのマネジメント リーダーシップとメンバーシップ/コミュニケーション			2019.12
11	令和元年度キャリアラダー研修	越谷市立病院	ファシリテーション II			2020.1
12	看護研究講座	医療生協さいたま	看護研究指導			2019.4～2020.2
(2)国、自治体、学術団体等における委員等						
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称			任期	
1	日本障がい者スポーツ健康科学看護学会	第2回学術集会運営実行委員			2019.4～10	
2	一般社団法人日本人間工学会	関東支部第49回大会 大会運営委員			2019.11～12	
3	日本保健医療福祉連携教育学会	12巻2号投稿論文査読			2019.7～9	
(3)ジャーナリズムでの発言						
	メディア等の名称	内容				年月
1	該当なし					
(4)その他						
	項目	相手方等	内容			期間
1	該当なし					
5. 学内運営						
	項目	内容				期間
1	該当なし	大学教職員親睦会委員				2019.4～2020.3
2	該当なし	健康行動科学専攻教員人事委員会資格審査会委員				2019.11
3	学科等における委員会等	看護学科1年生担任長				2019.4～2020.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)						
	受賞名	主催			受賞年月	
1	該当なし					
7. 特許の取得						
	特許名	特許番号			登録年月	

1	該当なし		
8.	特記事項		
	実用新案(中国)扶手装置 申請2019年2月19日、授権公告日2019年12月31日		